

教育だより

News for Education  
OITA

# おおいた

<http://kyouiku.oita-ed.jp/>

No.76  
2012  
WINTER

特集

## 大分っ子の体力は？

体力・運動能力調査結果について

## インターハイまであと222日

カウントダウンイベント開催！

シリーズ

## 「大分の顔」第4弾

岩尾幸美さん(ホッケー五輪代表選手)に聞く

## 第8回「おおいた教育の日」推進大会

トピックス

日出総合高校いよいよ開校

大分東高校に農業系学科新設

冬のお知らせとイベント紹介

編集・発行  
大分県教育庁教育改革・企画課  
大分市府内町3丁目10番1号  
TEL097-506-5421  
E-mail oitaed@pref.oita.lg.jp

平成24年12月21日



# 特集 H24 大分っ子の現状は？ 体力テストの結果公開！

今年度の調査では、体力合計点(表3)は、男女別・年齢別全てにおいて、昨年度を上回り低体力層の児童生徒の割合(表4)も多くの年齢で減少しました。しかし大分っ子の体力は全国平均には多くの項目で達しておらず、特に中学校に課題があります。そうした中、体育を専門に行う体育専科教員を活用する小学校(表2)では、ほとんどの項目で全国平均を超えました。

表1 平成24年度大分県児童生徒の体力・運動能力調査結果

(H24大分県とH23全国の平均値の比較)

表1

性別	校種	年齢	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横飛び	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	
			(kg)	(回)	(cm)	(点)	(数)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	
男子	小学校	6	9.19	11.08	25.71	26.35	16.42	△	11.81	111.68	8.55	
		7	10.98	13.23	27.08	29.66	24.97		10.77	122.23	12.30	
		8	12.81	15.27	28.74	33.96	34.77		10.22	133.36	16.53	
		9	14.86	17.16	30.94	37.74	43.57		9.78	141.11	20.59	
		10	17.07	18.98	32.72	41.60	52.20		9.43	151.31	24.74	
	中学校	11	19.91	20.74	34.74	44.10	60.17	9.07	159.77	28.95		
		12	23.79	22.80	38.67	47.62	67.56	422.99	8.70	176.65	18.62	
		13	29.89	26.23	41.83	50.75	83.25	391.14	8.10	193.30	21.63	
	高等学校	14	35.21	28.28	44.69	53.09	91.63	372.70	7.69	207.76	23.87	
		15	38.61	28.23	46.48	54.27	81.64	379.63	7.60	214.06	24.24	
		16	41.14	30.62	49.16	56.12	90.21	362.57	7.40	221.44	25.50	
		17	42.58	31.71	50.11	56.84	91.09	363.17	7.32	225.90	26.12	
	女子	小学校	6	8.63	10.85	27.76	25.80	14.08	△	12.09	105.10	5.98
			7	10.36	12.51	29.82	28.61	19.18		11.09	114.00	7.90
			8	12.02	14.10	31.74	31.98	24.98		10.57	124.76	10.14
			9	14.02	15.58	34.16	35.54	30.91		10.13	131.75	12.31
			10	16.57	17.40	36.55	38.85	38.71		9.77	143.01	14.96
中学校		11	19.60	18.33	39.05	40.04	43.61	9.39	148.64	17.08		
		12	21.66	18.58	41.66	42.55	46.99	297.97	9.25	159.39	12.15	
		13	23.51	20.83	42.78	44.29	53.69	294.63	9.07	163.89	13.15	
高等学校		14	24.82	21.41	44.64	44.69	54.19	295.81	8.99	165.65	13.77	
		15	25.27	19.84	44.26	44.93	44.80	309.52	9.13	161.61	13.48	
		16	25.89	21.61	45.94	44.82	48.88	312.07	9.14	163.60	13.92	
		17	26.66	22.06	46.74	45.52	49.28	310.61	9.13	165.37	14.37	

△は、県平均値が全国を上回るもの、もしくは有意差が見られないもの(P<0.05 ウェルチ検定)

表2 「体育専科教員活用推進校」の体力・運動能力調査結果

表2

性別	校種	年齢	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横飛び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
			(kg)	(回)	(cm)	(点)	(数)	(秒)	(cm)	(m)
男子	小学生	6	9.36	10.97	26.41	27.32	17.49	11.86	112.90	8.37
		7	11.27	14.40	28.18	30.48	28.43	10.64	125.10	12.58
		8	13.14	16.50	30.16	37.57	39.81	10.05	139.56	17.11
		9	14.77	18.37	32.98	41.81	49.28	9.55	146.83	21.78
		10	17.66	19.95	34.43	44.02	58.93	9.23	155.11	25.45
女子	小学生	11	20.43	21.94	36.48	46.70	63.01	8.79	166.66	30.21
		6	8.92	11.06	27.46	27.08	15.44	12.02	107.53	6.18
		7	10.91	13.76	30.37	29.97	23.38	10.99	117.99	8.30
		8	12.38	15.58	32.78	35.18	29.85	10.41	130.78	10.62
		9	13.93	16.73	36.18	39.07	37.69	9.93	139.66	13.26
10	17.47	18.44	37.77	41.26	46.72	9.50	148.91	15.50		
11	19.54	19.30	41.78	44.39	49.07	9.11	159.82	17.38		

△は、県平均値が全国を上回るもの、もしくは有意差が見られないもの(P<0.05 ウェルチ検定)

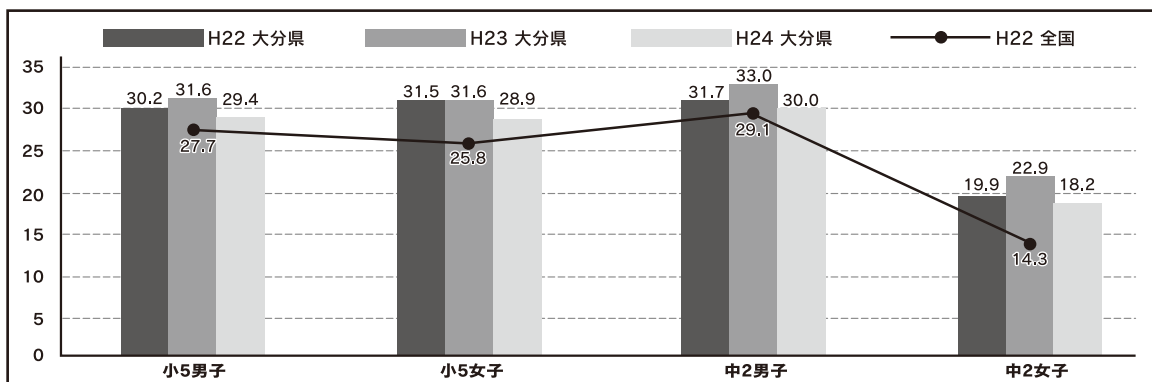
表3 男女別・年齢別体力合計点

表3

性別	校種	小学校					中学校			高等学校			
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
男子	H23全国	30.67	38.13	44.00	50.68	55.55	61.01	35.79	44.57	51.41	50.77	54.41	56.67
	H24	29.41	36.36	42.82	48.56	53.98	59.38	32.93	41.36	47.68	48.65	53.41	55.32
	H23	29.12	36.09	42.50	48.10	53.54	58.87	32.46	39.98	46.49	47.49	52.05	54.26
女子	H23全国	30.33	37.69	43.87	50.25	56.08	61.59	45.81	51.39	53.89	49.09	50.69	51.87
	H24	29.76	36.36	42.40	48.05	54.18	58.94	41.63	46.08	48.06	45.36	47.10	48.36
	H23	28.98	35.55	41.76	47.62	53.59	58.25	41.62	45.08	47.31	43.30	46.39	48.07

表4 低体力層(D・E層)の児童生徒の割合

表4



〈調査時期〉  
平成24年5月～7月

〈調査対象〉  
(各校種ともに全員調査)

小学校287校(全学年58,531人)  
中学校132校(全学年29,378人)  
高校52校(全学年24,262人)

## 調査結果の概要

- ①大分っ子の体力は、多くの項目で全国平均に達していない。特に50m走(走力)、立ち幅とび(跳躍力)では、すべての学年で全国平均を下回る。
- ②県平均が全国平均(H23)以上である項目の割合(以下「達成率」という。)は、21.3%(41/192項目:持久走除く)であり、昨年度に比べると6.8ポイント(13項目)低下。
- ③学校種別の達成率は、小学校30.2%、中学校0%、高校25.0%。(以上表1)
- ④H23年度の調査結果と比較すると、平均値が192項目中、108項目で向上。(全国平均は106項目向上)
- ⑤体育専科教員活用推進校における達成率は、94.8%(91/96項目)。(表2)
- ⑥男女別・年齢別体力合計点では、全ての年齢において、前年度を上回りました。(表3)
- ⑦低体力層(体力テストの総合判定がD又はE)の児童生徒の割合は、12歳男女、14歳女子、17歳男女を除いていずれも減少。(表4)
- ⑧生活習慣等調査では、全ての学校種別において「運動部活動等への加入状況」「運動・スポーツの実施状況」「朝食の摂取状況」「運動の愛好度」などの値が高いほど体力合計点が高い傾向。



休み時間にジャンピングボードを使っての縄跳び  
(日出町立日出小学校)

## 考察

- ①大分っ子の体力は、全国平均には追いついていないものの、男女別・年齢別体力合計点は、全てにおいて前年度を上回り、低体力層の児童生徒の割合が多くの学年で減少しています。
- ②体育専科教員活用推進校や体力向上推進校では、学校全体での組織的な取組を行った結果、顕著な成果が見られました。
- ③体力を向上させるためには、体育的活動の充実に加え、運動機会の確保、運動好きにさせる工夫、生活習慣の確立といった視点から、学校が課題や目標を明確に設定して学校全体で取り組む必要があります。



# 2013 未来をつなぐ 北部九州総体

**開催期間** 平成25年7月28日(日)～8月20日(火)

**総合開会式** 平成25年7月28日(日) / 大分銀行ドーム

## インターハイまであと222日

### カウントダウンイベントを開催!!

10月20日(土)にガレリア竹町ドーム広場で平成25年度全国高等学校総合体育大会カウントダウンイベントを開催しました。当日は高校生による爽やかな風が会場内に吹きわたり、多くの人に北部九州インターハイをPRすることができました。

#### オープニング

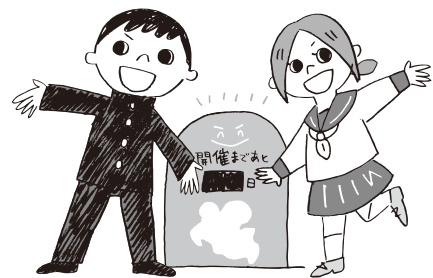
式典アナウンサー候補の芦刈紗和(大分上野丘高校)さん、衛藤雅樹(三重総合高校)さんの司会のもと、書道パフォーマンスのオープニングに続き、広瀬知事、野中教育長、生徒実行委員会委員長仲元彩華(大分鶴崎高校)さん、北信越かがやき総体フェンシング競技で第3位に入賞した江嶋宏太(藤蔭高校)さんの4名によりカウントダウンボードの除幕が行われました。



書道パフォーマンス(大分高校)



カウントダウンボード除幕



#### 第一部セレモニー

この夏インターハイを開催した北信越の高校生から北部九州の高校生へ、大会の成功を願う「友情の花(サルビア・マリーゴールドの種)」が伝達されました。北部九州各県高校生の活動紹介を行った後、4県を代表して大分県の仲元委員長が「夢や希望を未来につなぐ大会となるよう、力を合わせて頑張ります」と決意表明をしました。



友情の花伝達式



高校生活動の紹介



決意表明

#### 第二部アトラクション

県内高校生による吹奏楽、ダンス、リズムなぎなたでイベントを盛り上げました。また、「トップアスリートと語ろう」では大分県出身の成迫健児選手、澤田実希選手と江嶋宏太(藤蔭高校2年)さん、佐藤茉優(大分雄城台高校1年)さんによるトークショーを行いました。



吹奏楽(大分東明高校)



ダンス(大分東高校)

#### 募金活動の実施

大分県実行委員会では、インターハイの周知と開催機運の醸成及び高校生活動の支援を目的に募金委員会を設置し、募金と企業協賛を実施します。イベント終了後、生徒実行委員会による街頭募金活動を行いました。



リズムなぎなた(福德学院高校)



トップアスリートと語る



イベントには大分県「北部九州 join! joy!」SOUTAI「鳥めじろん」が応援にかけつけてくれました

### 成迫健児・澤田実希選手からの応援メッセージ



大分県の高校生アスリートは既に来年の北部九州総体を意識し、厳しいトレーニングに励んでいることと思います。君たちのインターハイが地元で開催されることに運命的なものを感じながら、主役であるみんなが活躍できることを心から応援しています。

**成迫健児選手**  
ミズノトラッククラブ所属 陸上競技(400mハードル)  
佐伯市出身



選手として地元インターハイを迎えることは、とても幸せな事だと思います。成功をお祈りしています。

**澤田実希選手**  
ジャパンローヤルゼリー(株)所属 陸上競技(400mハードル)  
大分市出身



シリーズ  
第4回

# 「大分の顔」



女子ホッケー日本代表  
九重町立野上中学校教諭 **いわお さちみ** 岩尾 幸美

1976年大分県九重町に生まれる。九重町立野上中学校から大分県立森高校へ。ホッケー部に所属。その後天理大学に進学。2004年アテネオリンピック、2008年北京オリンピック、2012年ロンドンオリンピックと3大会連続出場し、全日本代表(さくらジャパン)の中心選手として活躍。オリンピック3大会出場の大分県出身者は水泳の林亨選手以来2人目。現在は母校でもある九重町立野上中学校で保健体育教諭としてパワフルに活動中。

## ホッケーとの出会い

ホッケーを初めて21年目。人生の3分の2になりました。魅力はやはりスピード感です。試合展開の速さも見応えがあります。1試合で約8km走っている計算になるんです。始めたきっかけは、大分県立森高校入学です。部活動紹介で当時全国大会の常連だった女子ホッケー部の先輩達が、同じ女性ながら真っ黒になって走りまわっている姿にあこがれました。中学時代はソフトボール部でしたが、ずっと走りまわっているホッケーの方が、運動が大好きな私の性に合っていました。とても負けず嫌いな性格だったので、一度始めたことは完璧を追究したくなります。やればやるほどうまくなれるホッケーの限界を今でもまだ見ていません。

現在の森高校の山崎校長が当時のホッケー部の監督で、先生の目標が、ホッケーのオリンピック選手を輩出することでした。高校3年生の時、ユースの日本代表となって、中学時代からは想像もできなかった高い目標設定ができました。そういう意味で道を作ってもらいました。恩師も私もまさかの展開ですよ(笑)。

## 日本代表と学校の先生との両立

大学を卒業して、実業団でホッケーを

子どもたちに夢や希望を持ってもらうため、大分県出身の各界著名人にインタビューするシリーズ「大分の顔」。今回は、なんと3回もオリンピックに出場している女子ホッケー日本代表(さくらジャパン)の岩尾幸美選手を紹介します。日本のトップ選手として活躍していますが、実は九重町立野上中学校で保健体育を教える先生です。

このインタビューのもようをぜひ動画でもご覧下さい。大分県教育委員会のホームページからアクセスできます。携帯電話やスマートフォンからもご覧いただけます。  
(<http://kyouiku.oita-ed.jp/>)

## INTERVIEW

続けるという選択肢もありました。悩みましたが、両親とも相談して、地元に戻る決断をしました。日本代表と教師と、私のなかでは、同じくらいの高い価値があって、どちらかを選ぶことができなかつたんです。恩師には日本代表の方をやめて、ホッケーの普及と指導に専念したらどうかと言われましたけど…。

当時同じ日本代表チームに岩手県で小学校の先生をしている人がいたんです。代表合宿で集まると、誰よりも走れるんです。学校の仕事をもち込んで夜遅くまで仕事も頑張ってるんですよ。それを見て、「私にもできるのでは…」って、どこまでも負けず嫌いなんです。(笑)

実際にやってみると、想像以上に苦しくて、甘かった自分の考えに気づきました。他人に迷惑がかかるくらいなら、もうやめようと思って、何度となく同僚にも相談しました。「絶対やめるな。やがてあなたと同じ立場のこどもたちが出てきた場合、あなたがあきらめたら、その子たちの道を閉ざすことになるから。」って言われて…。(涙)周囲の応援と人との出会いに感謝したいです。



## 子どもたちに伝えたいこと

夢を思い描きにくい時代ですが、だからこそ夢を持って生活してほしい。今、夢を持っている人は、夢に向かって地道に努力を。まだ思い描けない人は、何でも一先ず目の前にあることに懸命に取り組んで

いて、そこから発見してほしい。やり遂げることで、人間は大きく成長できるから。自分の可能性を信じて、日々頑張してほしい。私の場合、最初は「自分のため」でした。次に両親の期待に応えたい。教師になってからは「生徒に夢を」「周囲に恩返しを」と、「人のために」という思いが強くなってきました。そうしたら「ホッケー」しかない、「オリンピック」しかない。それが、あきらめないでここまで続けてこられた原動力になったと思います。スポーツや学習を頑張ることに加えて、仲間、家族、先生方を大切にしてほしいと思います。人とのつながりを大切にしてぜひ夢を実現させてほしいです。

## 若い先生方へ

私は「生徒に夢を語る教師」でありたいと思っています。子どもたちは、先生や大人をよく見えていますから、口先だけではだめ。私は「全てに全力投球」をモットーにしています。本気で頑張ったことは生徒に伝わります。嘘いつわりなく、純粋な気持ちで子どもたちと接してほしいと思います。一緒にがんばりましょう。

自分の可能性を  
信じて全力投球  
人との出会いを大切に!

岩尾幸美





# 手をつなぎ 広げていこう 教育の輪

## 第8回「おおいた教育の日」推進大会

大分県では、県民の皆さんが教育について考え、学校、家庭及び地域社会が協働して子育てに取り組む契機となるよう、11月1日を「おおいた教育の日」と定めています。今年度も取組の一環として、11月1日(木)に佐伯市(佐伯文化会館)において「おおいた教育の日」推進大会を開催しました。

大会では、第1部でエッセー表彰と最優秀賞作品の朗読、第2部で「防災教育がつなぐ学校と地域の絆」をテーマに、実践発表と講演を行いました。

東日本大震災を受け、各地域で想定される災害や被災時の対応と学校等を避難所とした生活体験などを実践するために、今年の8月3日から5日までの2泊3日、佐伯市鶴見地区で地域防災キャンプが県内ではじめて行われました。実践発表では、実行委員の浜野氏から防災キャンプの成果や今後の災害への備えとして、地域が取り組むべきことについて発表がありました。

また、「東日本大震災から見た絆の大切さ ～子どもたちの笑顔のための学校・家庭・地域の連携～」と題した仙台市PTA協議会の内田会長の講演は、仙台の被災直後の状況と震災から1年半が経過した現在の復旧・復興の状況、子どもたちの生活の変化や地域の抱える課題等の内容で、今も多くの方々が、震災によって心に深く悲しい思いを抱えていることが会場に伝わりました。震災から私たちが学ぶことは多く、災害への備えと地域の将来を担う子どもたちのために、学校・家庭・地域の絆づくりに向けた多くの示唆が含まれていました。



エッセー最優秀作品の朗読の様子

### 「おおいた教育の日」エッセー表彰者

#### 小・中・高等学校・大学等の部

- 最優秀賞 岡本 夕佳 さん(大分県立大分豊府中学校3年)
- 優秀賞 本川 茉奈 さん(日田市立若宮小学校6年)
- 優秀賞 長野 裕貴 さん(大分県立野津高等学校3年)
- 優秀賞 三浦 楓 さん(大分県立芸術文化短期大学1年)
- 学校賞 大分県立大分豊府中学校
- 学校賞 竹田市立豊岡小学校

#### 一般の部

- 最優秀賞 吉田 道代 さん(臼杵市)
- 優秀賞 井上 杉夫 さん(大分市)
- 優秀賞 田北 善子 さん(日出町)

### 「小・中・高等学校・大学等の部」最優秀作品

#### バリアフリーな人付き合い

高校野球の大会が始まる時期になると、ふとある友人のこと、そしてその家族のことを思い出す。友人の家族、そしてその兄のことだ。この人たちとの出会いは、私に欠けていた、人付き合いとは何かを教えてくれた。

その友人の兄は、いわゆる「逆子」だった。出産時に脳性マヒと診断され、周りの介護が必要な生活を生まれながらに強いられることになった。その子育ての始めの頃は、大変な苦勞をされたとの話を友人から聞いたことがあった。

初めて私とその友人の家に遊びに行ったとき、表情は出さなかったものの、内心かなり驚いていたことを覚えている。初対面の際、二足歩行ではなく、車イスでの動きならまだしも、どちらかというとうるように近づいてきたときは、自分がどのように対応してよいのか焦ってしまっただけでなく、その兄もいつもよりずっと楽しげだった。まるで一つのチームのような雰

囲気だった。そんな屈託のない活動の様子を見ていると、自分はいったい今まで何と余計な考えにとらわれていたのか、とがく然とした思いだった。

その人と近づけたかなと思えたきっかけは、その兄が近所の子どもたちの野球の審判をやっている姿を見かけたときだった。何気なく友人と歩いていると、友人の兄が車イスに座り、的確に、生き生きと判定をやっていた。その周りで一生懸命にやっている子どもたちだけでなく、その兄もいつもよりずっと楽しげだった。まるで一つのチームのような雰

#### 大分県立大分豊府中学校3年 岡本 夕佳



囲気だった。そんな屈託のない活動の様子を見ていると、自分はいったい今まで何と余計な考えにとらわれていたのか、とがく然とした思いだった。

当時、「偏見」という観念は全くなかったと今でも信じているが、何らかの「違い」を必要以上に意識して向かい合っていたのだということに気づいた。「自分たち」などと自分勝手なカベを築いていた。でも実際には思い込みだけで違いなんてそもそもないものなんだ。そう気づいた時、自分の周りの視界が広がるんだと感じた。

それからというもの、以前にも増して野球自体にも興味が出てきた。もちろんもともと好きではあったのだが、バリアフリーな人付き合いを私の目前で示してくれたスポーツの存在が気になり始めた。よく世間でいう「スポーツには国境がない」というフレーズ。その言葉は私にとっては、国レベル等の広く遠い存在ではなく、もっと身近で隔たりのない人間関係を築く「カギ」となった。今でも何か世間で人権問題や文化摩擦などを目にする度に、自分の頭の中にひとりてに浮かび上がってくる行動基準となっている。

あとで聞いた話だが、その友人の親御さんは友人の兄のことを事あれば、「才能もあり、誇りに思っている」と家族内でも話をするとのことらしい。学校外の、家族という小さな単位での、素晴らしい人間教育が身近にあることを、私はどこかうれしく思っている。

その他の入賞作品につきましても、「おおいた教育の日」ホームページに掲載していますのでご覧ください。  
「おおいた教育の日」ホームページ <http://kyouiku.oita-ed.jp/syakai/2012/06/post-6.html>

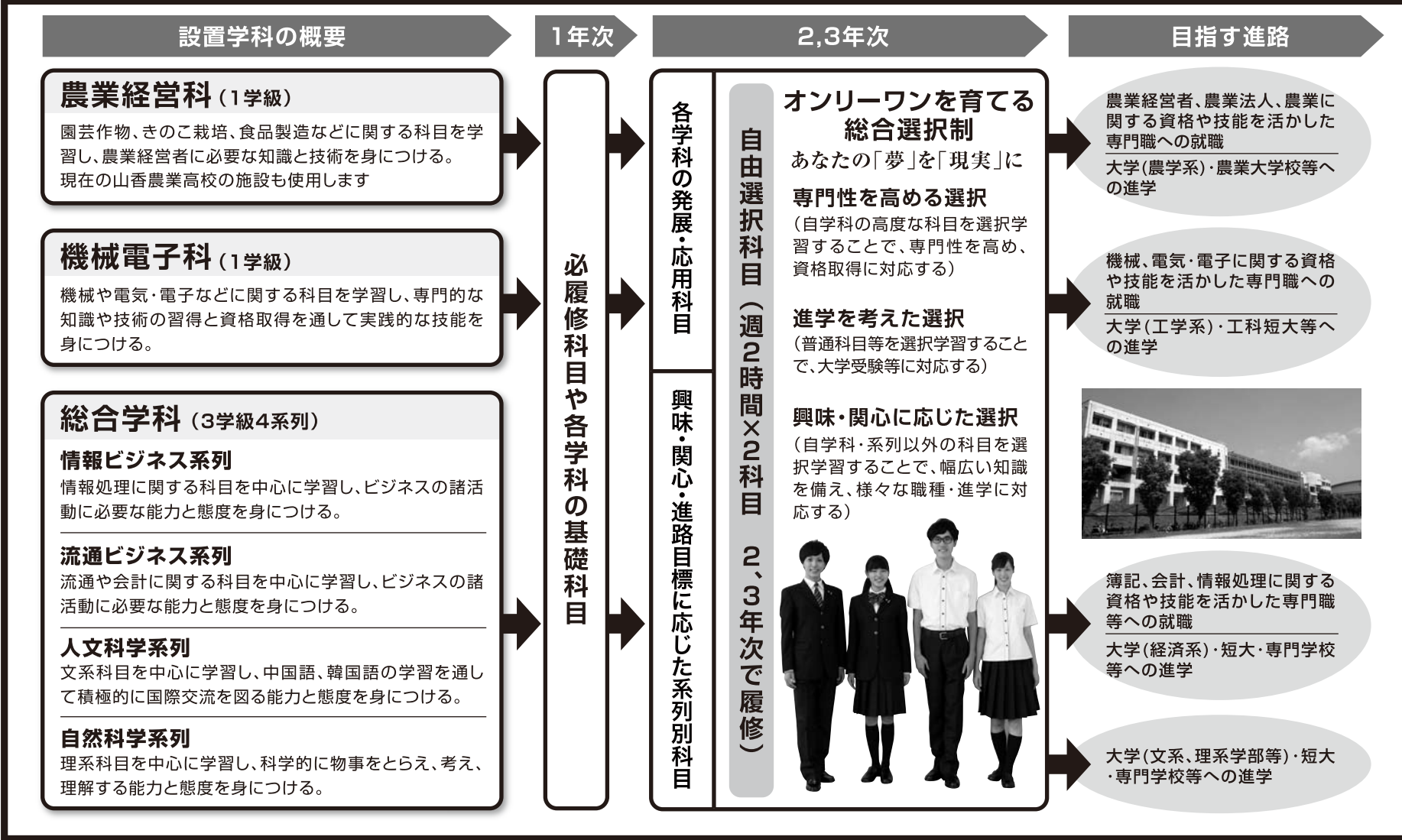


# 平成25年4月 新設校、新設学科がスタート

**高** 大分県立日出総合高等学校

山香農業高校と日出陽谷高校  
を発展的に統合

**人づくりにしらしんけん**



## 大分東高校の新たな歴史が始動

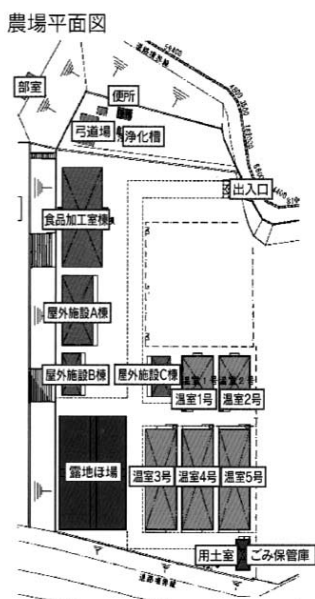
総合選択制高校としてスタート  
大分市で初の農業科を設置

感動と成長を体験し、夢に向かって挑戦!!

■設置学科

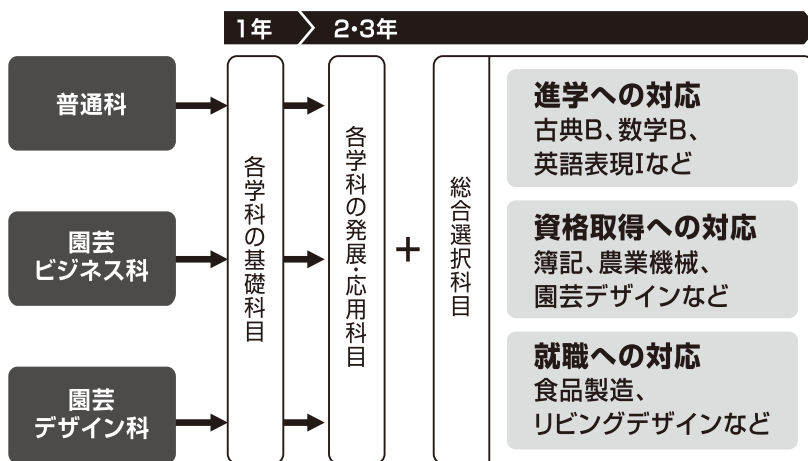
普通科	多様な進路に応じたコースの設置
園芸ビジネス科	野菜栽培と安全な食をプロデュースする専門力の育成
園芸デザイン科	花き栽培と生活空間をクリエイティブにする専門力の育成

■農業科の実験・実習施設



■総合選択制

2・3年次に週2科目2時間ずつ計4科目8時間を、進路目標に応じて選択します。



園芸ビジネス科、園芸デザイン科が挑戦する資格取得

危険物取扱者、日本農業技術検定、フラワー装能士  
車両系建設機械技能者、販売士、ボイラー取扱者 など

園芸ビジネス科、園芸デザイン科のめざす進路

進学: 国公立大学(農学部、環境系学科)、私立大学、短大、農業大学校、各種専門学校  
就職: 農業法人、食品関係企業、JA、生花店、流通・販売業、製造業 など



## 大分の観光の歴史がすべてわかる! 「大分のアーカイブズ」展

大分県内には、別府・久住・耶馬溪など、全国に名だたる有名な観光地がたくさんあります。今回の展示は、先哲史料館・県立図書館・公文書館の三館がそれぞれ所蔵する、「観光」に関するアーカイブズ(記録史料)を一挙公開します。

古文書、古写真、パンフレット類などをもとに、観光地の歴史をふりかえると共に、油屋熊八や山下彬磨(しげまる)など、観光の発展に尽力した人物に関する資料も紹介します。初公開の資料が満載の貴重な展示です。お見逃しのないように!

- 実施日時/平成25年 2月8日(金)～3月24日(日)
- 場 所/先哲史料館展示室(県立図書館1階)
- 休 館 日/第1・3月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
- 参 加 費/無料
- 問い合わせ先/県立先哲史料館 TEL 097-546-9380



豊後国別府温泉並波戸場一覽圖(先哲史料館蔵)

## 節電のお願い

平成24年12月3日(月)～平成25年3月29日(金)の平日  
8:00～21:00(年末年始12/31～1/4を除く)

- 厚着をして、エアコンは20℃を心がけましょう。
- 不要な照明をできるだけ消しましょう。
- できるだけ一部屋で過ごすなど家族団らんを楽しみましょう。
- 冷蔵庫の設定を「弱」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう。 ※日常生活に支障のない範囲で取り組みましょう。



## 埋蔵文化財センターでは 学校との連携を推進しています!

埋蔵文化財センターでは、学校周辺から出土した土器や石器などを持参し、出前授業を行っています。また、大分県下の遺跡から発掘された遺物で構成された「歴史学習体験キット」を作成し市町村教育委員会に配備しています。レプリカではない本物の遺物を活用してみませんか。職業体験や施設見学も受け入れています。

- 対 象 者/小・中・高等学校等の児童・生徒
- 参 加 費/無料
- 募集期間/随時
- 問い合わせ先/埋蔵文化財センター  
TEL 097-597-5675

出前授業に関しては、随時受け付けていますが、準備の都合上、2～3週間前にご連絡ください。



実際の出前授業の様子

## 爽風館高等学校通信制課程 入試説明会

通信制の課程で行う教育は、添削指導(自宅でのレポート作成)、月2回程度の面接指導(スクーリング)および試験が学びの主な柱です。自分に合ったペースで学習し、高校卒業資格が取得できるため、現在働いている人や毎日の通学が困難な人などにも適した学習スタイルです。

通信制課程の入学願書は、入試説明会に参加した受験希望者本人に配付します。保護者、代理の方にはお渡ししませんので、受験希望者は必ず入試説明会に参加して下さい。

実施日	場 所	受 付	時 間	対 象 ※
1月 5日(土)	コンパルホール	10:00～10:30	10:30～11:30	新入・転入・編入
1月17日(木)	爽風館高校	13:30～14:00	14:00～15:00	新入・転入・編入
1月24日(木)	爽風館高校	13:30～14:00	14:00～15:00	新入・転入・編入
2月10日(日)	爽風館高校	13:30～14:00	14:00～15:00	新入
3月 3日(日)	爽風館高校	13:30～14:00	14:00～15:00	新入

※対象については、爽風館高校にお問い合わせください。



大分市上野丘1丁目11番14号 TEL 097-547-7735

## 図書館でボランティア活動してみませんか

県立図書館では平成25年度の図書館ボランティアを募集します。資格などは必要ありません。

図書館の仕事に興味のある方のご応募をお待ちしています。

こんな活動をしていただく予定です。

- イベント運営の補助 ●絵本の読み聞かせ
- 郷土資料(新聞等)の整理 など

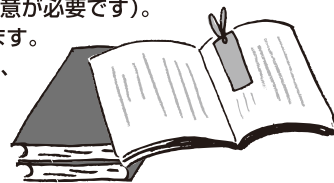
### 説明会

■実施日/平成25年 1月30日(水)、2月23日(土)、  
2月25日(月)、3月3日(日)

いずれか1回の説明会に必ず参加してください(4回とも同一内容です)。

■申込最終期限/平成25年 3月10日(日)

- 活動場所/県立図書館
- 対 象 者/高校生以上の方(ただし高校生の場合は保護者の同意が必要です)。申込多数の場合は抽選または選考させていただきます。
- 期 間/12月中に募集概要を発表、1～3月に説明会を実施、4月から1年間活動していただけます。
- 問い合わせ先/県立図書館 企画・資料課 企画管理担当  
TEL 097-546-9972(代)



図書館行事部門



子ども室支援部門



# プラネタリウム鑑賞会のお知らせ

参加費  
**無料**

大分県教育センターでは、子ども・保護者など、天体に興味のある方々を対象に、プラネタリウム鑑賞会を実施します。

■実施日時／平成25年**1月11日(金)・2月7日(木)**  
16:30~17:15(16:00~受付)

■参加費／無料

■定員／50名(希望者は下記までお申し込み下さい。)

■問い合わせ先／大分県教育センター教科研修部 TEL 097-569-0227(直通)  
E-mail oita-edu-c.kenshu@pref.oita.lg.jp

## 県民のみなさまの学びを応援します! HP「まなびの広場おおいた」 学ぶきっかけがきっと見つかる

県内で開催されている講座やイベント、講師紹介、貸出視聴覚教材(フィルム、ビデオ)などの情報が検索できます。Web上ですぐに学べる動画コンテンツ(インターネット教室)もあり、みなさまの学びの場がきっと見つかります。



まなびの広場おおいた **検索**

■問い合わせ先／県立社会教育総合センター TEL 0977-22-7763

## 特別陳列 「麻生豊 原画展」

宇佐市出身の漫画家麻生豊は、4コママンガの元祖「ノンキナトウサン」の作者として知られています。「ノンキナトウサン」は、関東大震災で被災した人々を慰め、明るい世の中になろうという願いが込められた作品です。この「ノンキナトウサン」をはじめとして、現代にも通じるユーモアや風刺があふれた作品の数々を紹介します。

■実施日時／**11月6日(火)~平成25年1月27日(日)**  
9:00~17:00(入館は16:30まで)

■休館日／月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日) 12月28日~1月3日

■観覧料／常設展観覧料でご覧になれます。

一般300円 高校生・大学生150円

小中学生 無料 高校生は土曜に限り無料



ノンキナトウサン原画



ノンキナトウサン単行本口絵

## 企画展

# 「南無阿弥陀仏 —浄土と祖師へのおもい—」

「なむあみだぶつ」と称えることで、古くから人々は「こころの安穩」を求め、阿弥陀仏を祈ることは、さまざまな文化財を生み出しました。

この企画展では、阿弥陀仏への祈りとともに、法然や親鸞など、阿弥陀仏をひたすらに祈ることを伝えたお坊様へのおもいが生みだした、文化財も展示します。仏教は奥深く、おもしろい。冬の博物館は、阿弥陀仏をテーマに、豊かな大分の仏教文化を紹介します。

■実施日時／**12月7日(金)~平成25年1月14日(月)**  
9:00~17:00(入館は16:30まで)

■休館日／月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日) 12月28日~1月3日

■観覧料／常設展観覧料でご覧になれます。

一般300円 高校生・大学生150円

小中学生 無料 高校生は土曜に限り無料

## ギャラリートーク

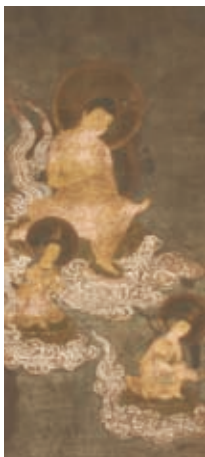
当館の学芸員が展示内容について解説をします。

12月12日(水)  
「法然上人絵伝と  
親鸞聖人絵伝」

12月19日(水)  
「浄土曼荼羅図」

1月 9日(水)  
「地獄・極楽図」

いずれも 13:30~14:30



阿弥陀三尊来迎図  
(大分県立歴史博物館)



方便法身像(佐伯市・真宗寺)

問い合わせ先／県立歴史博物館 TEL 0978-37-2100

## 生誕100年記念 高山辰雄展

いのち  
—生命の賛歌— **特別展示** 文藝春秋表紙絵展

人間、自然、宇宙がテーマ。生きとし生けるものへの深い共感を崇高な絵画世界に昇華させた高山芸術。

■実施日時／**12月20日(木)から平成25年2月3日(日)まで**  
9:00~17:00(入館は16:30まで)

毎週金曜日は20:00まで開館(入館は19:30まで)

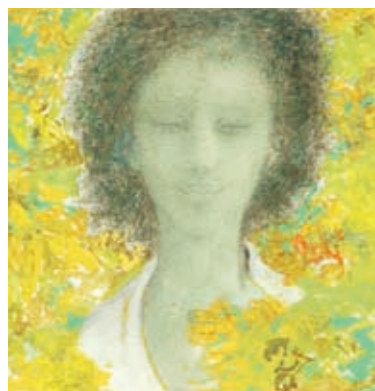
■観覧料／一般1,000円/高大生600円/小中生無料

大分市美術館との共通観覧券

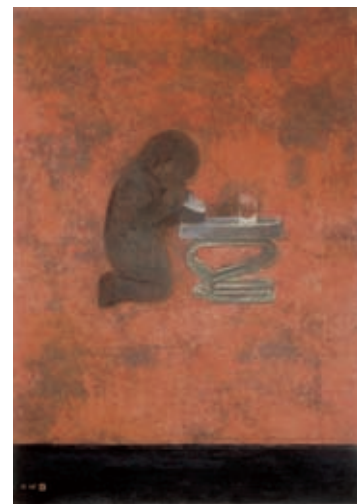
(一般1,400円/高大生800円)

■問い合わせ先／県立芸術会館

TEL 097-552-0077



《秋光》文藝春秋表紙絵(1992年10月号)



《食べる》1973年 大分県立芸術会館蔵

## 少年少女科学体験スペース O-Labo(オーラボ)

参加費  
**無料**

### 少年少女科学体験スペース



少年少女科学体験スペースO-Labo(オーラボ)では、いろいろな科学実験や工作などの体験講座を提供してきました。

12月から来年3月まで、毎週土日祝日にO-Laboで体験講座を実施しています。

科学やものづくりの面白さ、楽しさにふれるチャンスです。ぜひ、O-Laboへお越し下さい!

■会館日時／**土日祝日 10:00~16:00**

■設置場所／大分市中央町岩尾洋装店ビル1F

■対象者／小学生・中学生(小学3年生以下の児童は保護者同伴)

■申し込み／(1)O-Laboの申込み・詳細は、HP(<http://www.o-labo.net>)をご覧ください。  
(2)参加料は無料です。

■問い合わせ先／少年少女科学体験スペースO-Labo TEL 097-574-5619

**県内の市町村に出向いて、出前講座を実施しています。**  
今後の予定は以下のとおりです。

12月26日・27日 日出町(日出町中央公民館)

1月19日・20日 臼杵市(臼杵市中央公民館/野津中央公民館)

2月23日 豊後高田市(豊後高田市中央公民館)

問い合わせ先／該当市町村教育委員会及び大分県教育庁社会教育課 TEL 097-506-5526